

# 48

## 街の中に残る水鳥たちの楽園

### 高田公園 (上越市)

■環境：公園  
 ■対象：家族  
 ■期間：通年  
 4月～8月

松平忠輝が慶長19年に築城した高田城は内堀と外堀があり、これが高田公園として、人口約14万の上越市民の憩いの場になっている。市民のための行事も多いが、四季折々生きものたちを多く含む場所でもある。

#### <水鳥たちでにぎわう冬の公園>

高田公園名物のハスが枯れ、水面が開けてくるころ、北国からの訪問者、色とりどりのカモたちが内堀、外堀を埋め尽くす。

図書館の駐車場に車を止め、南堀を野球場に向かって歩いていくと、水面にはコガモ、マガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、ハシビロガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、カルガモなどのカモ類を見ることができる。南堀にカモが少ない時には公園内の道（ブロンズプロムナード）を北に歩いて北堀に出るとよい。

南堀と同様にカモを見ることができ、特にハシビロガモがいることが多い。冬季には、カモ類の他にもアオサギ、ダイサギ、コサギなどのサギ類やユリカモメ、カモメ、バン、カイツブリなどを見ることができる。

#### <お堀で見られる鳥たち>

桜の花が咲くころになると、ハスの葉の上やヨシの

枝の上にカワセミが姿を現す。外堀のヨシ、マコモの草むらではカイツブリ、ヨシゴイ、バンが毎年営巣している。春と秋の渡りの時期には、水面を華麗な姿でアジサシが飛翔する。

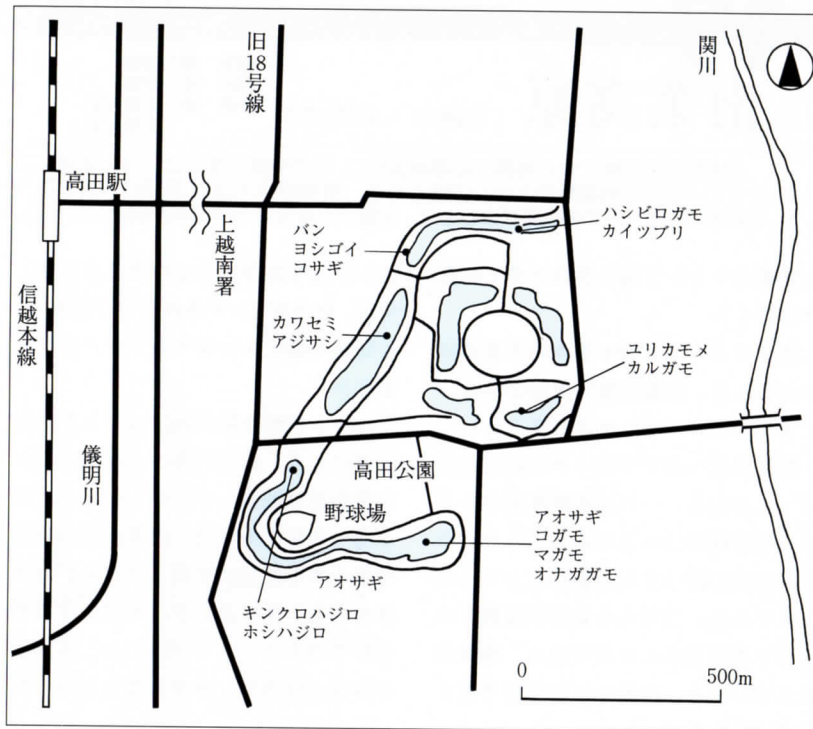
#### <公園内で見られる鳥たち>

公園内にはたくさんの桜の木があり、季節によりさまざまな鳥が訪れる。

桜の花が咲き乱れるころは、花のミツを求めてメジロの群れやヒヨドリが現れ、桜の花が散るころには、餌探しに夢中なシジュウカラが忙しく動きまわる。そして、葉が落ちる冬には、花



高田公園内堀と高田城



のつばみとつばみに飛来したウソや、昆虫の幼虫を採食するために木をたたくアオゲラの姿を見ることができる。

また、公園内には桜の木のほかにもケヤキやアカマツの林があり、渡りの季節にはメボソムシクイやキビタキが旅の途中に羽を休めている。内堀にはコクチョウが飼われていて、毎年かわいいヒナの姿を見せてくれる。

(勝俣将明)

#### メモ

**交通** JR高田駅から牧村行きバスで高田公園前下車、もしくはJR高田駅から徒歩で20分。

☐ 高田スポーツセンター前の駐車場が広いが、その他図書館前、テニスコート周辺、野球場前等駐車スペースは十分。トイレは公園内に二カ所ある。

**探鳥会** 特に開かれていないが、冬の日曜日には地元のバードウォッチャーもよく現れる。見かけたら一声かけてみよう。

**道草** 公園には上越の自然、風土、歴史資料を展示した総合博物館や復元された高田城三重櫓がある。桜の名所100選の一つに選ばれており、夜桜は一見の価値あり。